

経営比較分析表（令和6年度決算）

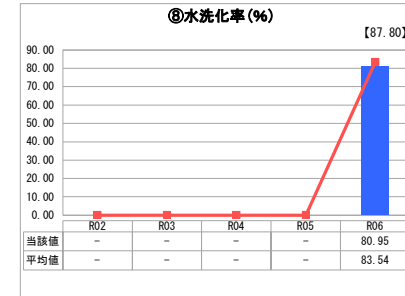
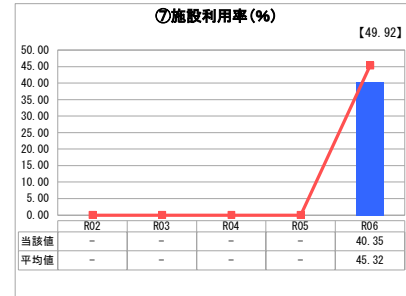
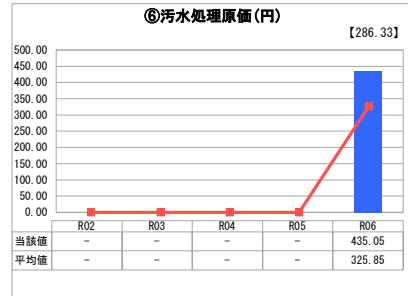
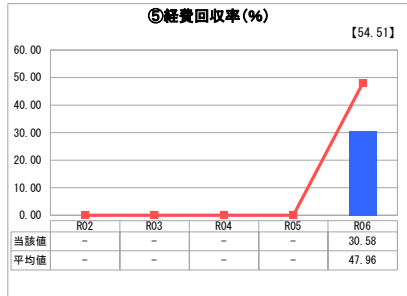
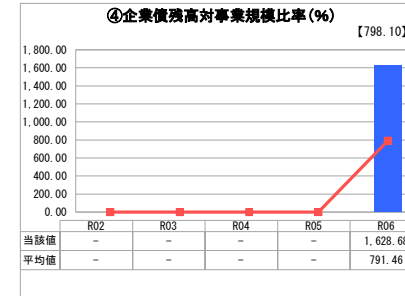
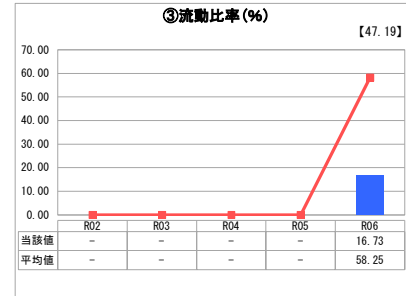
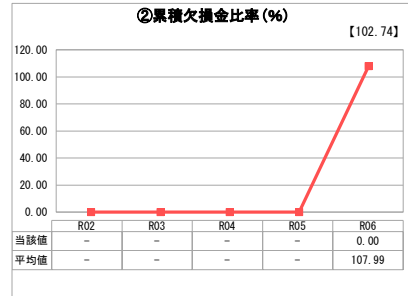
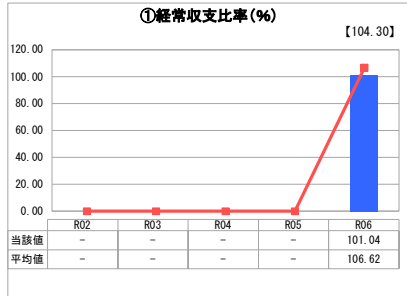
大分県 杵築市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	75.97	3.47	98.15	3,390

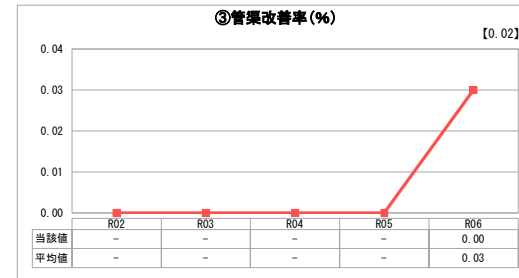
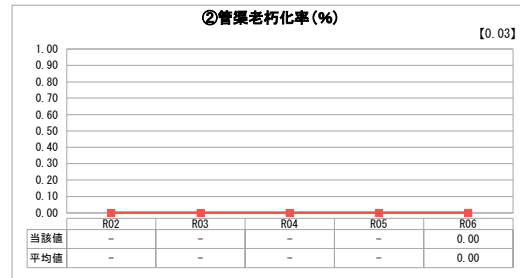
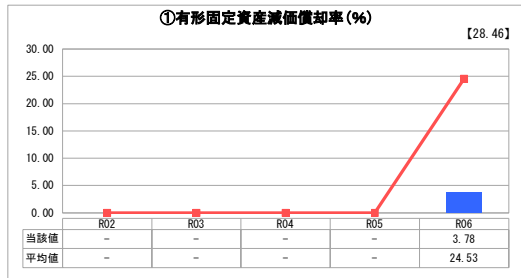
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
26,153	280.08	93.38
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
903	0.77	1,172.73

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[] 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析標

1. 経営の健全性・効率性について

令和6年度から地方公営企業法を適用し企業会計に移行した。
 ①100%を上回ってはいるが、類似団体平均を下回っているため更なる収入確保と経費削減を図る必要がある。
 ②決算時点における未収未払残高によって大きく数値が変動してしまう部分はあるが、本市では流動負債の大部分を占める企業債の償還を一般会計からの繰入金に大きく依存しており、内部留保資金が著しく少ないことが流動比率の低い要因となっているため、更なる収入確保等により内部留保資金を増やしていく必要がある。
 ③類似団体平均を大きく上回っており、施設規模に対して収益が著しく小さいことが一因となっているため、適正な収益確保の取組を行っていく必要がある。
 ④費用に対して収益が小さいことから類似団体と比較しても低くなっており、引き続き収支改善のための取り組みを行っていく必要がある。
 ⑤維持管理費用に対して有収水量が少ないこともあり、汚水処理原価は類似団体平均と比較しても高くなっている。今後は人口減少による更なる有収水量の減が見込まれるため、引き続き経費削減に努める必要がある。
 ⑥類似団体平均を下回っている状況であり、今後は人口減少による収入減も想定されるため、引き続き接続率向上のための取り組みを行っていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

①令和6年度から企業会計に移行したが、減価償却累計額はゼロからの積み上げとなるため、類似団体平均を大きく下回る値となっているが、供用開始から20年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいるため、計画的に改築更新を行っていく必要がある。
 ②管渠の耐用年数(50年)は経過していないが、施設のライフサイクルコストの最小化や計画的な予防保全により安全性の確保に努めていく。

全体総括

令和6年度から地方公営企業法を適用したが、本市の農業集落排水は、投資した経費に見合った収入を得ることができておらず、経営が良好とはいえないう状態である。今後も処理区域内人口の減少により、更なる収入の減少が見込まれており、また、昨今の物価高騰に伴う維持管理費等の増に対応していくためにも、適切な水準への使用料の見直しを定期的に行っていく必要がある。老朽化対策としては、施設の計画的な改築更新を行うことでライフサイクルコストの最小化や平準化を図り、適正な施設管理に努めるとともに、人材確保が困難となっている技術職員の確保及び育成に努めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。